

～ 京都商工会議所 × 会津若松商工会議所「相互交流Year」1年を振り返る ～

京都と会津若松との更なる「絆」を確認

本所・会津若松商工会議所は昨年12月15日、NHK大河ドラマ「八重の桜」の最終回放映に合わせて、同志社大学 新島会館で、「相互交流Year」クロージングミーティングを開催。両会議所の役員議員や会津若松の関係者など約65名が参加しました。両会議所の会頭は、本日が終わりの日ではなく、両都市の関係を今後さらに深めていく、新たなスタートの日であることを確認し合いました。

「相互交流Year」推進協定は震災復興を目的に、両会議所の間で昨年1月18日に締結されたもの。「八重の桜」が放映された平成25年を集中的に交流を深める年として、観光ツアーや物産展の開催など様々な事業を行い、絆を深めてきました。ここで京都と会津若松との交流の軌跡を紹介します(主要事業抜粋)。



クロージングミーティング開会の挨拶をする立石会頭。

固い握手を交わす立石会頭と宮森会頭

NHK大河ドラマ「八重の桜」最終回を全員で視聴

「相互交流Year」推進協定事業 ふりかえり

「相互交流Year推進協定」調印式



会津松平家第14代当主の松平保久氏の立会いのもと、両商工会議所会頭が調印書に署名し、会津若松をはじめ東北の復興に向けて、力強く活動していくことを誓った。

「八重の桜」ラッピングバスツアー



マスコットキャラクターの八重たんをあしらった「八重の桜ラッピングバス」で、会津若松商工会議所会員が入浴。京都府庁舎などの八重ゆかりの地を巡った。

会津 役員議員が京都を訪問



会津若松商工会議所の役員議員が、本所や京都府をはじめ会津若松ゆかりの地を訪問。交流会では、山本覚馬の活躍を映像で紹介し、先人が育んだ絆を振り返った。

観光・運輸部会「会津若松訪問」



大河ドラマゆかりの観光施設を訪問し、観光振興の取り組みを視察したほか、会津若松商工会議所の観光・旅客輸送部会と懇談し、震災の復興状況などをヒアリングした。

京都 女性会による交流会



京都と会津若松のハンサムウーマンによる意見交流会。両女性会の活動を紹介するとともに、震災復興のために今後とも連携を深めていくことで合意した。

会津若松物産展「新島八重のふるさと福島県の物産と観光展」in京都



高島屋京都店で福島県内31社が、清酒・米・菓子・漆器などを出店。会津地域の物産を求める多くの来場者で会場は賑わった。

「定例会員講演会」～ラストサムライ山本覚馬とハンサムウーマン新島八重～



NHK大河ドラマ「八重の桜」の制作総括である内藤慎介氏と作家の鈴木由紀子氏が、本所2代会長で京都近代化の立役者・山本覚馬の生き方について講演。

東北六魂祭・会津若松ツアー



東北6県を代表する夏祭りが一堂に会する「東北六魂祭」に合わせて、会津若松を巡る会員ツアーを実施。鶴ヶ城や新島八重生誕の地など、山本覚馬と八重ゆかりの地を訪問した。

京都物産展「京都・会津若松絆交流展」食品・名産部会視察見学会



「会津まつり」の開催に合わせて京都物産展を開催。また、食品・名産部会員による見学会も実施し、会津若松の伝統工芸などを視察した。